**子育て世帯の外出に関するアンケート結果**

（保健福祉部子ども未来推進局子ども子育て支援課）

１　目　的

　　新規事業である子育て世帯優先マークの作成に向けて、実際にマークによる優先の対象となる子育て世帯に対して、アンケートを実施し、道民目線のマークの活用方法や設置場所を検討する。

２　対　象

　　道内子育て支援拠点の利用者

３　実施期間

　　令和４年（2022年）３月７日～令和４年（2022年）３月25日

４　回答者数

　　736名

５　実施方法

　　北海道電子自治体共同システムの簡易申請機能を活用。子育て支援拠点を通じて利用者（子育て世帯）に周知し、利用者（子育て世帯）が直接ネット上のアンケートフォームに入力し、回答。

６　調査項目

　　子育て世帯の外出について（７問）

問１　新型コロナウイルス感染症の影響による外出頻度の変化について

　□　減った　　　　　　　621人 （84.4%）

□　増えた　　　　　　　 ２人 （0.3%）

□　変わらない　　　　　 96人 （13.0 %）

□　その他（具体的に）　 17 人 （2.3%）

　　　　　計　　　　　　736人（100.0%）

問２　子どもと外出する頻度について

□　ほとんど毎日　　　　　　76人（10％）

□　１～２日に１回　　　　　68人（９％）

□　２～３日に１回　　　　 121人（17％）

□　４～５日に１回　　　　 104人（14％）

□　１週間に１回　　　 　　224人（30％）

　□　半月に１回　　　　 　　77人（11％）

　□　ほとんど外出していない　66人（９％）

　　　　　　計　　　　　　 　736人（100％）

問３　外出する手段として最も多いもの（３つまで）

□　徒歩（抱っこ、ベビーカー等）　236人（24％）

□　自転車　　　　　　　　　　　　 33人（３％）

□　自家用車　　　　　　　　　　　698人（69％）

□　公共交通機関　　　　　　　　　 29人（３％）

□　タクシー　　　　　　　　　　　 11人（１％）

□　その他（具体的に）　　　　　　 3人（０％）

問４　外出時の不便や困難について（３つまで）

□　ベビーカーの乗り降りがしにくい（公共交通機関）　105人（11％）

□　子どもが走り回ったりして危ない（公共交通機関）　 79人（８％）

□　座席が狭い（公共交通機関）　　　　　　　　　　　 87人（９％）

□　授乳やおむつ替えをする場所がない　　　　　　　　279人（30％）

□　特に不便や困難を感じたことはない　　　　　　　　339人（36％）

□　その他（具体的に）　　　　　　　　　　　　　　　 59人（６％）

問５　外出先の不便や困難について（３つまで）

□　駐車スペースが狭い　　　　　　　　　352人（27％）

□　屋内の通路が狭い　　　　　　　　　　 94人（７％）

□　授乳やおむつ替えをする場所がない　　219人（17％）

□　エレベーターが狭い　　　　　　　　　 53人（４％）

□　自動ドアがない　　　　　　　　　　　 31人（３％）

□　子どもと入れるトイレがない

□　特に不便や困難を感じたことはない

□　その他（具体的に）

問６　妊婦や子育て世帯の優先マークについて

　□　あった方が良い　　　　　　　　　　345人（47％）

□　どちらかというとあった方が良い　　225人（30％）

□　どちらでも良い　　　　　　　　　　100人（14％）

□　なくても構わない　　　　　　　　　 45人（６％）

□　ない方が良い　　　　　　　　　　　 ８人（１％）

□　わからない　　　　　　　　　　　　 13人（２％）

　　　　　計　　　　　　　　　　　　　 736人（100％）

問７　どのような場所に優先マークがあったら良いか

　　※２つまでの選択としていたが、１つまでしか選択ができなかった。

　□　駐車場　　　　　　　436人（59％）

□　エレベーター　　　　 55人（７％）

□　エスカレーター　　　 ７人（１％）

　□　トイレ　　　　　　　177人（24％）

　□　タクシー　　　　　　 ７人（１％）

　□　特に必要ない　　　　 35人（５％）

　□　その他（具体的に）　 19人（３％）